

## 「カンボジアのリハビリテーションセンター等に対する障害児用中古車椅子供与による福祉政策向上への支援」プロジェクト事業完了報告(写真)

2015年8月19日プノンペン市の福祉省ホールで社会福祉大臣、障害者支援局幹部、日本大使館参事官、JICAカンボジア事務所幹部、全国リハビリセンター及び障害児支援NGO団体の責任者、それに障害児と保護者等300名以上が参加し、障害者支援局とJICA同窓会の協力で車椅子170台の引渡式を行った。当日の様子は4社のテレビ局と4全国紙の取材で全国に大きく報道された。



車椅子を受け取る障害児と保護者30組と他の障害児も参加し手話で通訳していた。



ヴァン・ソーホ社会福祉大臣はスピーチで「日本のNGOと日本政府にカンボジアのニーズに応えてくれた人道支援に感謝している。障害者支援は福祉省の優先課題として、2014-18 国家障害戦略を発表した。それに基づいて、全国のリハビリセンターで年間 20,000 人以上の障害者に無償でリハビリ治療を実施した。今後とも障害児の利便のための人道支援活動の支援を期待したい」と述べられました。

式の後、大臣は車椅子の乗った子ども達一人ひとりに笑顔で話しかけ励ましていた。

## シェムリアップでの引渡式

8月21日にはプノンペンから300キロ以上の距離で、アンコールワット遺跡があるシェムリアップで引渡式を行った。前日から遠方の地方から来てセンター内で宿泊、30名の子どもと母親が参加してくれた。

日本の母親からの贈り物に感謝！！ 大切に使ってほしいとお願いした



## 障害児の家庭訪問

プノンペンとシェムリアップの田舎で当会から送った車椅子を使っている子どもの家庭を訪問して生活の環境や車椅子の活用状況について検証した。車椅子で動けるようになって喜ぶ子ども、学校へ行けるようになった子どもなど。子どもの成長が早く数年で大きなものに取り換えてリユースも出来ている。



車椅子が壊れて近くのバイク屋で直したと喜んでた。空気入れも自転車店でやってくれる。